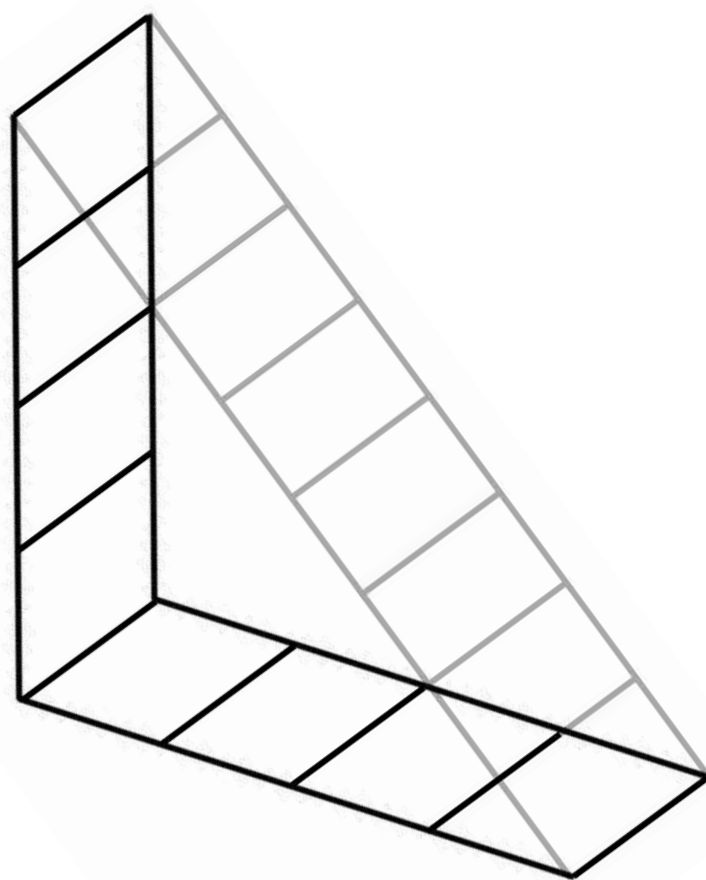


# こども・若者サミット

～こども・若者の参画を全国へ～



開催日 2019年3月24日（日）

会場 千葉市子ども交流館



1	主催者挨拶 .....	2
2	首長フォーラム 市長紹介 .....	3
3	こども・若者サミット 開催要項 .....	5
4	こども・若者による事例発表	
	(1) 千葉市	
	①「こどものまちCBT」 .....	7
	②こども・若者市役所(CCF C)「2018年度活動報告」 .....	11
	③ワークショップ「検見川ビーチフェスタをもりあげろ！」 .....	15
	④ワークショップ「こども農業PR隊」 .....	21
	(2) 松戸市	
	「こどもモニター」 .....	29
	(3) 四街道市	
	「チームよつてら」 .....	35
	(4) 袖ヶ浦市	
	「そでがうらわんぱくクエスト」 .....	47
5	各市事例紹介 (パネル展示)	
	(1) ニセコ町 .....	66
	(2) 安平町 .....	68
	(3) 木更津市 .....	70
	(4) 四街道市 .....	72
	(5) 八王子市 .....	74
	(6) 川崎市 .....	76
6	参加自治体 問合せ先 .....	78

# 主催者 挨拶



千葉市長  
熊谷 俊人

こども・若者サミットの開催にあたり、本日ご参加の関係者の皆様に格別のご尽力をいただき、深く感謝の意を表します。

本サミットは、こども・若者の社会参画について、取組事例や成果を広く発信することにより、事業の一層の周知・啓発を図るため開催しており、今年で3回目となります。昨年、一昨年と県内外の自治体から、市長の皆様や、社会参画に取り組むこども・若者の皆さんにご参加いただき、実りある情報交換をすることができました。

本日お招きした、松戸市、四街道市、袖ヶ浦市の取組事例は、いずれも持続的・継続的に取り組んでいるものであり、こども・若者の社会参画における世代間の引き継ぎやつながり、地域や学校といった周囲への広がりなどについて、共有ができるものと考えております。

若い世代が「自分たちの未来は、自分たちで創る」という気構えをもち、未来に希望のもてるまちづくりを自分たちの手で行うようにするため、私たちは10年後、20年後を見据え、こども・若者の社会参画を進める必要があります。

県内各自治体の、子どもたちの思いや願いを反映させた様々な施策について、成果や課題を話し合うことで、今後更にそれぞれの取組みが充実し、社会参画のすそ野がますます広がることを期待して、開催のあいさつと致します。

## 【経 歴】

1978年生まれ、神戸出身。2001年早稲田大学政治経済学部卒業、NTTコミュニケーションズ株式会社入社。2007年5月から2年間千葉市議会議員を務め、2009年6月、千葉市長選挙に立候補し当選。当時全国最年少市長（31歳）、政令指定都市では歴代最年少市長となる。現在3期目

# 首長フォーラム 市長紹介



松戸市長  
本郷谷 健次

松戸市では、すべての子どもの権利が等しく尊重され、子どもたちを元気に育てる環境をつくり、子どもの育ちを社会全体で支えていけるよう、妊娠・出産から子育てまで切れ目ない支援を行っています。

また、スポーツや音楽など多様な分野でも多くの子ども若者が活躍しています。

本日のサミットでは「松戸市こどもモニター」をはじめ、様々な子ども若者に発表いただきます。私自身もしっかりと耳を傾け、すべての子ども若者が未来に夢や希望を持ち、成長できるような社会を築いていきたいと思っています。

## 【経 歴】

昭和23年8月29日、愛知県名古屋市緑区鳴海町生まれ。東京大学経済学部を卒業後、新日本製鐵株式会社にて総務、人事を中心に様々な仕事を担当する。その後、大手監査法人にて主に国へのコンサルタント業務を行う。平成18年松戸市議会議員初当選（1期）。平成22年より松戸市長に就任し、現在3期目



四街道市長  
佐渡 斉

四街道市では、みんなで子どもたちを支え、すくすくと育つまちを実現するため、子ども条例の策定に着手しました。まちづくりに大人の意見だけでなく、子どもの視点を生かしていくとともに、子どもや若者と地域・社会との関わりを深める活動を通じて、将来の地域の担い手を育ててまいりたいと考えています。

## 【経 歴】

1953年広島県竹原市生まれ。1978年明治大学政治経済学部卒業後、四街道市職員に。同市社会福祉協議会事務局長、国会議員秘書を経て、2007年千葉県議会議員に初当選。病に倒れた前市長を引き継ぐ形で2010年2月に四街道市長に就任（現在3期目）元NPO法人理事、保護司などを務める。



袖ヶ浦市長  
出口 清

袖ヶ浦市は、魅力あるまちづくりのための様々な施策を展開し、全国的に人口減少が進む中でも、子育て世代を中心に、人口が増え続けている「選ばれるまち」です。特に、安心して子どもを産み育てられるソフト・ハードの子育て環境の充実とともに、「生きる力」の育成のため市独自に各種支援教員を雇用し、子どもたちの学力向上に取り組むなど、多くの特色ある教育施策を展開しています。それらの成果として、図書館を使った調べる学習コンクールの上位入賞者数は19年連続で日本一となっています。また、安全・安心で質の高い教育環境で学ぶことができるよう、学校施設の改修やエアコン整備等を進めています。

## 【経 歴】

昭和21年袖ヶ浦市生まれ。産能短期大学卒業。袖ヶ浦市議会議員（4期）を経て、平成19年に袖ヶ浦市長初当選。現在3期目。千葉県市長会理事、千葉県国民健康保険団体連合会理事、君津中央病院運営協議会会長、袖ヶ浦市防犯協会会長等を務める。

# こども・若者サミット 開催要項

## ■ 開催目的

こども・若者の社会参画に関心のある自治体の首長が集い、こども・若者の社会参画の取組事例や成果を広く発信することにより、事業の一層の周知・啓発を図るとともに、全国での取組みとなることを期待し、開催する。

## ■ プログラム

発表者	発表内容
1. 開会宣言 (13:30～13:33)	千葉市こども未来局長挨拶
2. 千葉市事例発表① (13:33～13:38)	こどものまちCBT 今年の成果と来年に向けて
3. 千葉市事例発表② (13:38～13:48)	こども・若者市役所（CCFC） 2018年度活動報告
4. 千葉市事例発表③ (13:48～13:58)	ワークショップ① 「検見川ビーチフェスタ」をもりあげろ！
5. 千葉市事例発表④ (13:58～14:08)	ワークショップ② 「こども農業PR隊」広めるぞ！千産千消
会場設営	
6. 松戸市事例発表 (14:10～14:25)	こどもモニター
7. 四街道市事例発表 (14:25～14:40)	チームよつてら
8. 袖ヶ浦市事例発表 (14:40～14:55)	そでがうらわんぱくクエスト
会場設営	
9. 首長フォーラム (15:00～15:40)	首長フォーラム（終了後、記念撮影） ＜千葉市・松戸市・四街道市・袖ヶ浦市＞
会場設営	
10. 意見交換 (15:40～16:10)	子どもたちと首長の対話会
11. 市長講評・閉会宣言 (16:10～16:15)	熊谷千葉市長（講評・挨拶）
記念撮影 (16:15～16:20)	子どもたちと記念撮影

こどものまち CBT

こども・若者市役所（C C F C）

ワークショップ①

ワークショップ②

# こどものまちCBT



CBT2018 夏のだいがみ！

～世界にひとつだけの最高のまちを自分たちの手で～



## CBT / こどものまちってなんだろう(´o`)?

### ■ ChiBa Town の略!

千葉市中央区で活動する、  
「こどものまちCBT」です☆彡

### ■ 「こどものまち」とは…?

ドイツのミュンヘンが発祥の「こどもたちによる、  
こどもたちが運営する、まちを体験する」活動です!



## こどものまちの「流れ」



## こどものまちCBTの活動

- ・ 8月の夏休み3日間、きぼ一るに「まち」が出現!!
- ・ 毎月1回、コアスタッフは集まって、翌年の準備をしています。
- ・ こどもたちはまちで、市民になり、仕事をして、仮想通貨(カフェ)を給与としてもらって、そのお金で遊んだり、食事をしたりします。
- ・ 毎年、来年のまちの方針を決める「市長選挙」もします!



## C B T 2018の新たな取り組み

### ①【各種クラブ活動(部活動)が始動】

→ ダンス部がステージで発表をしました！！

### ②【一票の格差是正】

「なぜ、“男女間で一票の格差”が生まれるのだろうか？」

「“男女で一票に差がある”のはおかしいんじゃない？」という疑問から…

→ 選挙管理委員会を中心に、「男女間における一票の格差」を是正しました。



### ③【「掃除」の給与を高く！】

「汚れるお仕事なのに、なぜ“同じ給与”でしかもらえないのだろうか？」という疑問から…

→ 給与を「50カフェ多く」するように見直ししました。



## こどものまちをやることで、どんな良いことがある？

### 【友だちづくり】

- ・他学年／他校の子と友達になれる
- ・「リーダー」になれる

### 【お店づくり】

- ・お店の裏側を知られる
- ・子どもでもお店が作れる(やりたいお店／仕事がある)

### 【未来の自分】

- ・未来の自分に役立つ
- ・社会勉強になる



## こどものまち C B T 2019のお知らせ

こどものまちCBT2019は、  
8月23日(金)～25日(日)を予定しています！

2019では

「みんなが楽しく笑顔でハッピーになれるまち」を目指します。

また、8月に会いましょう～♪



コアスタッフも大募集～！！





# 千葉シティーンズ未来センター

2018年度  
千葉市こども若者市役所

～連携・協働・継承～

活動報告



# 『「ヨコ」と「タテ」のつながり』づくり

「ヨコ」のつながり: 他大学・短大の学生との交流・協働、他校の高校生との交流・協働

「タテ」のつながり: 大学・短大生、高校生からこどもたちへの「継承」、「交流」

高齢世代、社会人の方から大学・短大生、高校生からへの「継承」、「交流」



## 活動場所

ちば産学官連携プラットフォーム参画校  
の協力を得て、大学・短大施設を利用

## 2018年度に取り組んだこと

こどもの居場所づくり

×

「高校生」や「大学生」  
ができること

||

高校生や大学生がこどもたちに  
「教える」「伝える」「体験する」

地域での世代間交流

×

「高校生」や「大学生」  
ができること

||

市内の大学や短期大学、高校の施設  
を活用し、地域との交流スペースを  
高校生と大学生で運営

## ワークショップやフィールドワークを通じて検討



## 大学施設を活用し、多世代の地域交流拠点づくり

12月22日(土)に千葉経済大学学生ホールをお借りして、「クリスマスカフェ」を実施。これまで考えてきた、①こどもの居場所づくりのために、何ができるか、②地域での多世代交流のために何ができるのか、という問いに対する答え(=アイディア)を実施。



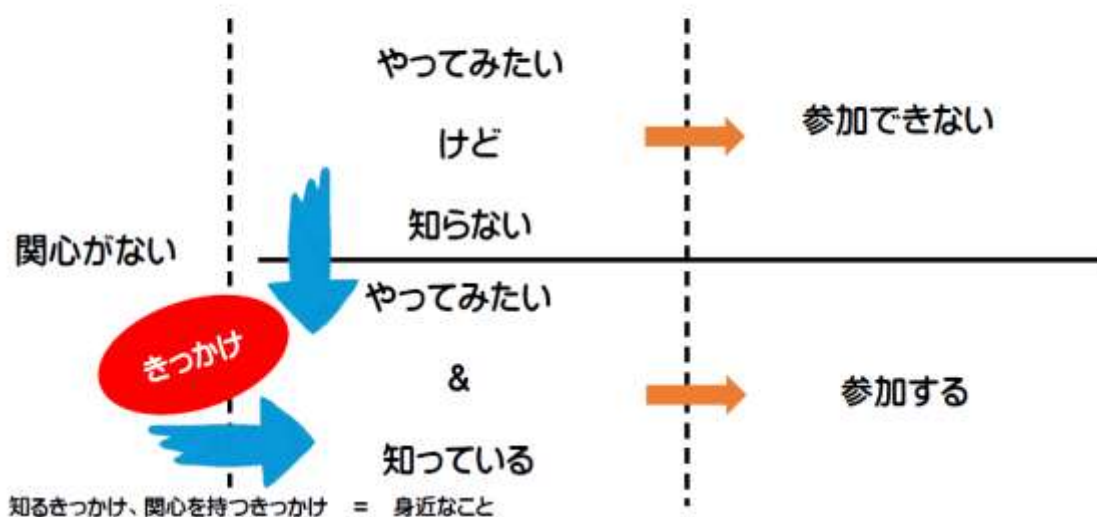
当日は、200名を超えるこども、大人、学生が参加。予想を超える来場者で、大学施設を活用した、多世代の地域交流拠点づくりの可能性を確認できた。また、用意した企画もこどもたちにも喜んでもらえ、こどもの居場所づくりにおいても有効な企画であることが確認でき、自分たちがこどもたちに伝えられることも改めて考えることができた。

一方、運営にあたっては課題も多く残ったため、「経験の継承」が必要であると感じた。

## 2018年度の取り組みを振り返って



## 活動を進めていくために



# 来年度の取り組みに向けて

## 学校などでの「体験授業」をプロデュース！

～高校生、大学生、短大生自らが「楽しく」学べる授業プログラムを開発し、社会への関心を高める～

きっかけ  
づくり

小学校、中学校、高校では、「主権者教育（模擬選挙）」など、社会のことを学ぶ授業が行われています。私たち自身が、これまで「授業」を受けてきた経験を踏まえ、もっと楽しく、社会のことを学び、そして興味や関心を高めることができるような「体験型」の授業プログラムを開発し、私たち自らが「先生」となって、学校に出張したり、地域や大学・短大の施設等でイベントを企画したりします。また、千葉市内の高校、大学、短大の部活動やサークルなどで取り組まれているボランティア活動などの情報を共有し、関心がある人が参加できるようにしていきます。社会のことに関心をもち、自ら「できること」を行動することができることもや若者が増えることで、地域活動を促進していきます。

## 大学・短大、高校の施設を、地域の課題を解決する「地域の拠点」に！

～「地域カフェ」・「寺子屋」活動を展開

継続  
と  
継承

いま、地域は様々な課題に直面しています。こうした課題に対応していくためには、地域の「絆」、「つながり」が欠かせません。こども世代、高齢世代の“中間”である私たちの世代が“かけ橋”となって多世代で交流する機会を作ります。具体的には、「地域カフェ」、「寺子屋」、「こども食堂」などの活動を千葉市内の高校や大学・短大の施設を地域に開放しながら、継続的に展開し、千葉市の「地域づくり」、「まちづくり」に参画します。

## 日本一若者が熱い「まち」に！

～千葉市内の高校・大学・短大 若者サミットと政策アイデアコンテストを開催し、市の課題や身近な課題を解決！

参画の  
アクション

千葉市内には、2つの市立高校、20の県立高校、9の私立高校、14の大学・短期大学があります。それぞれの学校に通学する高校生、大学生、短大生等の“横のつながり”と、高校生と大学生、短大生等との“縦のつながり”を作るため、「千葉市内 高校・大学・短大 若者サミット」で、高校生や大学生、短大生にとっての「身近な課題」、「身近な問題」をどのように解決し、変えていくことができるかを議論し、お互いにアイデアを出し合い、実際の活動につなげていきます。

また、千葉市から提示されたテーマに基づき、政策アイデアコンテストを開催し、コンテストで選ばれた「アイデア」を実現するために、実際に活動していきます。このような取り組みを通して、若者が社会に関わり、自ら行動することができる機会を作っていきます。

# ワークショップ①

## 検見川ビーチフェスタを もりあげろ！

---

～ビーチフェスタの課題をまじめに考えました～

## 話は2017年…

- 🌊 検見川の浜で開催している「検見川ビーチフェスタ」で、子どもでも楽しめる企画を考えてほしい



- 小学生1500人にアンケートをした
- 「砂浜宝探し」を行うことに決定した！

## 準備

- 🌊 ビーチフェスタまでにしたこと
  - ポスター
  - ルールカード
  - マニュアル
  - スタッフTシャツ
  - 景品選び
  - アンケート用紙
- そして、何度も練習を行った



## 準備



- 🌊 準備をして、本番をおかえた


そして、本番


---

# 台風で中止に！

そして、2018年10月21日

---

 このまま終わるのはもったいないので、  
「検見川ビーチ オータムフェスタ」に参加！

 時間ができたので、さらに準備をした

当日の様子

---

 動画をご覧ください

## 結果

- 🌊 大行列ができた！  
→午前中だけで景品がなくなった
- 🌊 200人以上の人に楽しんでもらった  
→特に小さい子どもが多かった  
目的の「子どもでも楽しめる企画」ができた

## アンケートの結果

- 🌊 最高に楽しかった？  
普通だった？



## 砂浜宝探しの良かった点

- 思ったよりお客さんが来た
- 何度も参加する人がいた
- 景品がなくなっても参加する人がいた

## 砂浜宝探しの課題

---

- 「ゴミひろい」活動ができなかった
- 予想外の出来事が起きて、計画的に行動できなかった

## ビーチフェスタの課題

---

- ゴミがたくさん落ちていた
- 小学校高学年が少なかった

## おしまい

---





## 千葉市の農業を PRしよう

～知って・食べて・誇れる千葉市～

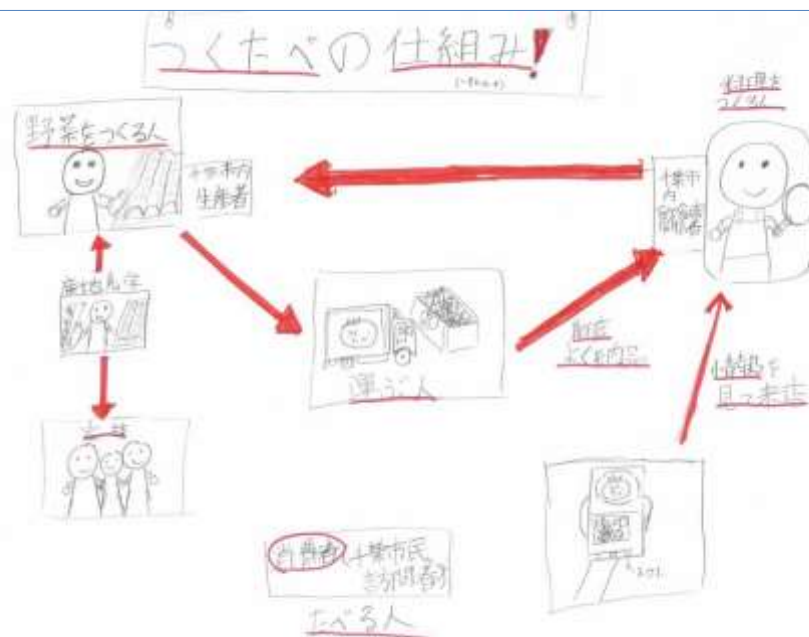
ざ☆いももっち～ず

## 千葉市の農業について聞いた！



## 千葉市の農業について聞いた！

- 野菜、果物がたくさんあった！
- 地産地消は得なことが多い
- 「つくたべプロジェクト」が知られていなかった



## 千葉市の農業

こうなってほしい！



## 千葉市の農業

こうなってほしい！

- 多くの人に知ってもらって、
- 食べてもらって、
- 千葉市にほこりを持てるようにしたい！

## そのために何をする？

- 農家の方に、野菜のおいしい食べ方を  
教えてもらう動画をつくる
- 千葉市の郷土料理「いももち」の  
クッキング動画をつくる

「いももち」つくってみました！



完成した動画をご覧ください

## 動画の使い方

- 小学校で、給食の時間などに流す
- お家で料理をする大人にも見てほしい

これからは...

- 他の「野菜」や「料理」でもできるといい！

→千葉市の農業がもっとPRできる

→千葉市にほこりを持つことにつながる

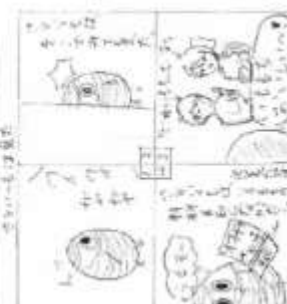
さ☆いももちーす

Q.さきもちーすはなに？

A.さきもちーすとは、千葉市を愛し、千葉市に愛された千葉市在住の郷土料理が大好きな小中学生の集まりです。

私たちは、千葉市の農業、農産物を、愛して愛され、愛を伝えたい。千葉市に誇りを伝えるため、2018年11月から活動してききました。

千葉市役所、農試課の佐々木さんにお話をうかがいました。



いもち

千葉市の農業でんがーかんじ？

つくたべについて  
つくたべは、農産物を千葉市でつくって千葉市で食するということも表れています。  
また、千葉市の地産地消や、食育、お店を支援するなどの取り組みなどをしていきます。

地産地消について  
地産地消とは、地元で生産された農産物を、地元で消費することです。地産地消のメリットは、新鮮な野菜や果物を食べられること、また、地元の農家を支援できることです。



気になったら調べてみてね？  
動画もみてね！

## 活動を終えて

- 学校で学べないことを学べた
- いももちづくりが楽しかった
- 10, 20代の人に農業に興味を持ってほしい

## おしまい



# 自治体事例発表

松戸市・四街道市・袖ヶ浦市



# わたしたちの提言 ～理想の博物館～



# 私たち、こどもモニターです！

## 目的

- ・ 子どもの意見を市の政策や事業に反映させること

## 活動内容

- ・ こども祭り・非行防止キャンペーン等の協力
- ・ 鳥取県倉吉市との地域間交流会
- ・ 市政への提言(見学会、グループワーク、子ども夢フォーラムでの発表)
- ・ こども新聞の発行

## メンバー

- ・ 小学生12名(子ども会)
- ・ 中学生22名(各市内中学校より1名)

## 市政への提言

### テーマ「理想の博物館」

松戸市立博物館では、子どもたちが、体験・探検・学習しながら松戸の歴史を発見できる「こども歴史博物館」の展示構想を考えています。

松戸市立博物館はもちろん、市外の博物館の体験型歴史学習のできるコーナーを中心に見学し、グループワークを行い、理想の博物館について考えたのでご紹介します！



## 私たちの活動 ①

### 委嘱式



### 非行防止キャンペーン



## 私たちの活動 ②

### 市外博物館 見学

(埼玉県立歴史と  
民俗の博物館)



### 市外博物館 見学

(足立区立郷土博  
物館)



### 松戸市立 博物館見学



### グループ ワーク



# 理想の博物館 その1

## 理想の博物館



### ① 着替え体験

- 自分の興味のある時代・服に着替える
- 「ショー」のように楽しんだ服を着替える
- メイク・ヘアスタイルなども楽しめる



### ② 募集コーナーを作る



### ③ 復元された建物



昔と今で比べられる建物を作る  
→昔と今の暮らしの違いを楽しめる!!



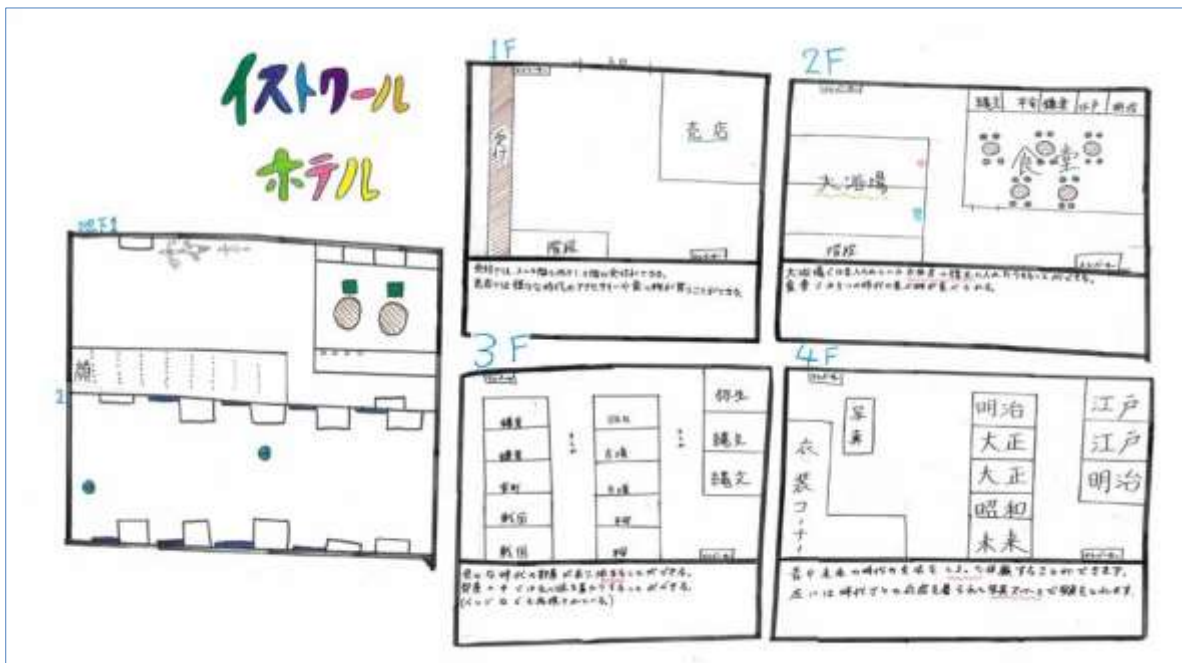
### ④ 松戸について本にまとめる



松戸の歴史などをわかりやすく、誰でも読めるようにまとめて本にする  
→図書コーナーを設けて読んでもらう

# 理想の博物館

## その2



# 理想の博物館

## その3

# VR 體驗



VRにすればリアルな体験  
が出来る

VRでRPG風ゲームの歴史体験  
をすれば楽しく勉強できるしその  
時代の人の苦勞や悩みなどを  
感じることができる

現実世界じゃ出来ないことを体  
験できし昔の無くなってしまった  
建築物を作り直さなくてもテ  
タにするだけで本当にあるように見  
える!

## 理想の博物館 その4

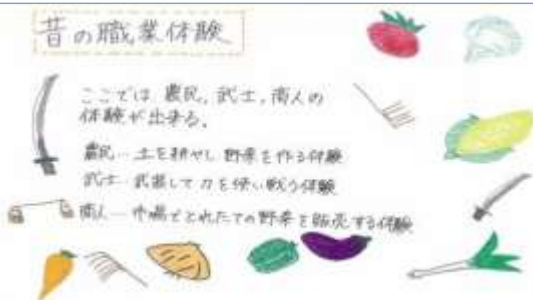
昔の職業体験

ここでは、農民、武士、商人の併存が主である。

農民…土を耕やし、野菜を作る仲間

武士、武器して刀を強い戦う経験

商人——市場でとれたての野菜を販売する役割



昔のお金を使って買いたいものが  
ある。現在の物価  
100円で商品1個に交換  
できる。また、1000円で大量  
1個と交換でき、商品を  
買える。

金二のお金はしずかりで、持ち帰りたい人ぞいると思うので、その人ようにしずかりを作る。

## 替のお金を預えるしぜう



②  $xy$  の値が  $xy = 1$  のとき、 $x = \frac{1}{y}$  となる。

徳文時代以降は、麻などで出来おり、鎌倉時代は甲斐、明治時代には「しなない」がある。  
写本を焼くスペースもある。

「服の着比べ体験」



実際にまわりの  
作り手を知る  
こともできる。  
色もさまざま  
選べる。

自分で作るのって世界でたった1つの  
まがまが作れる。  
また他の人がいいものに教えて  
くれるので、こどもでも簡単にできる

まが五作り体験

# 感想

● 普段、博物館について考える機会がなかったので、今回の活動を通じて、博物館への関心が高まった。これからいろいろな博物館へ行って見学したい。

● モニター活動を通じて、自分は変わったと思う。はじめは、自信がなかったけれど、みんなと活動することで自分に自信がついた。

● みんなの意見を合わせると、1人ではできない素晴らしいものができることを知った。



チームよつてら

## 学びでつながる寺子屋コミュニティ

チームよつてら



## 話の流れ

1. 「寺子屋」とは
2. 「チームよつてら」について
3. 活動について
4. 「チームよつてら」としての成果と課題



## 1. 「寺子屋」とは

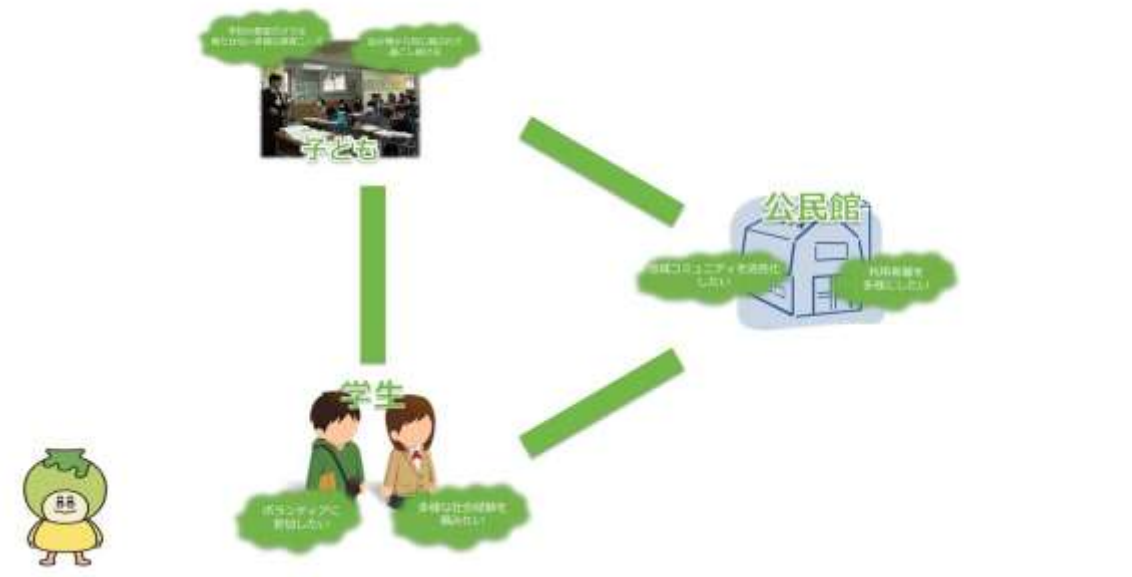


学校の教室だけでは  
果たせない多様な教育ニーズ

幼少期から同じ顔ぶれで  
過ごし続ける







# 「寺子屋」とは？

## 寺子屋

**学習支援**

**体験学習**

## 学びでつながる寺子屋コミュニティ



複数の主体が関わる地域コミュニティを通じて、  
学びを創造する。

- ・各主体のコーディネート
- ・広報協力
- ・事業の助成

- ・会場の提供
- ・寺子屋の主催、企画、運営
- ・ボランティア証明書の発行

- ・学習支援
- ・体験学習の企画
- ・ボランティアの募集



- ・体験学習の協力
- ・ボランティア協力

- ・児童・生徒への紹介
- ・課外活動の充実



## 2. 「チームよつてら」について



2014年

# チームよつてら

各団体がバラバラに  
ボランティアを募集・・



## チームよつてら

- ・ 千葉県四街道市内で寺子屋に参加する  
社会人や学生ボランティアのチーム。
- ・ 主に公民館などのコミュニティ施設と協力。



## 3. 活動について



## 主な活動日程

よつかいどう寺子屋：主に毎月第2・第4 土曜日

あさひ寺子屋：長期休業期間中の1日～2日間

ちよだ寺子屋：長期休業期間中の1日～2日間

ふれあい寺子屋：長期休業期間中の1日～2日間



## 活動内容について ～あさひ寺子屋の場合～



## 企画会議の進め方

- ①主催者側と日程や各締め切りの確認
- ②企画案を出し合う
- ③企画・時間割の確定
- ④チラシ作成→主催者に提出
- ⑤活動計画の作成&授業準備
- ⑥寺子屋終了後の反省



## 時間割

スケジュール	
8月4日(土)	
9:30～9:45	開校式
9:50～10:40	自主学習(持参した課題の学習)
10:45～11:00	昼食時(はみあもものさし)
11:05～11:50	自主学習(持参した課題の学習)
12:00～12:45	お昼休み
13:00～13:50	自主学習(持参した課題の学習)
14:00～15:00	企業授業(正学年対象) どんな「職業」になるのが、お楽しみか！
15:10～15:25	お昼休み
8月5日(日)	
9:30～9:45	開校式
9:50～10:40	自主学習(持参した課題の学習)
10:45～11:00	昼食時(はみあもものさし)
11:05～11:50	自主学習(持参した課題の学習)
12:00～12:45	お昼休み
13:00～13:50	企業授業(正学年対象) どんな「職業」になるのが、お楽しみか！
14:00～15:00	開校式

持ち物 お弁当・水筒・勉強するもの(課題など)・筆記用具  
※必ず「運動靴」を履いてきてください。

～自主学習～  
この2日間で、夏休みの課題頑張って終わらせよう！

～工作教室～  
どんなものが作れるのかは当日までの楽しみ！  
(低学年対象)  
【持ち物】はみあもものさし

～企業授業～  
学生ボランティアの皆さん、お姉さんが楽しい授業を企画してくれそうです。  
(高学年対象及び正学年)  
楽しみてください！

2日間、みんなで楽しく過ごそうね！



## 視覚障害者への理解を深める授業



四街道市に存在する視覚障害者支援団体の協力のもと行なった授業。

地域資源を活用



## 公民館サークルによる書道教室



公民館で活動する書道サークルの指導による体験

公民館を中心とした地域コミュニティの活用



## 高校演劇部による体験授業



学生が、一から企画・考案  
千葉敬愛高校演劇部の全面協力



## あさひ寺子屋による成果



## 「あさひ寺子屋」の成果

- ・市内の小学校で広く認知されており、受容が大きくなっている。
- ・社会参加の機会になっている。
- ・小学生、ボランティア共に特別な経験になっている。



## 4. 「チームよつてら」としての 成果と課題



### 成果

- ・本格的に組織として活動しはじめる。
- ・学生たちがより幅広く活動ができるように、コラボ四街道に応募した。



- ・補助金をいただき、交通費や消耗品などに充て、より活動しやすく環境を整えることができた。



### 流動的な運営形態

- ・主にチラシやメンバーの口コミによる加入→寺子屋で活動→就職などの理由によるメンバー脱退  
⇒非常に流動的な運営形態
- ・メンバーから主要な人物が幹部に抜擢され、運営の一端を担う



## 課題

- ・流動的な運営形態のため、次の担い手の問題が常に残ってしまう。
- ・組織としての仕事により、一部の参加者に負担が偏ってしまう。  
→どうしても組織運営がメインとなってしまう。



## 最後に...

- ・「チームよつてら」は児童や生徒の学びの場だけではなく、参加するスタッフの学びの場でもある。
- ・自分がこれまでに学んできたことを、表現することができる場である。



ご清聴ありがとうございました。





# 袖ヶ浦市

## そでがうらわんぱくクエスト 【袖ヶ浦市】



心に刻む 最高の夏！  
～大切なものに気づくかもしれない6日間～

## 【発表者】

小学生代表

中学生代表

ボランティア代表



佐久間 瑠都



岡田 海望



鈴木 七海



柳田 蓮



増田 風牙



阿部 匠真

## 【事業の目的】

5泊6日の**非日常体験**を通して、地域の方々や仲間への**感謝の気持ちを育む**とともに青少年の自主性・自立性・忍耐力・協調性を養い、これからの袖ヶ浦市を担う人材の育成を図る。



## 【参加者】

市内在住の小学5年生～中学3年生



42名

## 【参加者】

42名（女子：14名 男子：28名）  
 各班7名（女子：2班 男子：4班）



## 【非日常体験】

- ◎全行程徒歩移動
- ◎野外泊
- ◎自力生活
- ◎各種体験活動
- ◎自然とのふれあい



## 【全行程徒歩移動】スタート&ゴール

活動場所や宿泊場所が  
 できるだけ重複しない  
 よう、スタート地点は  
 広範囲に設定

各班で話し合い、  
 参加者がスタート地点  
 を決める

地図を片手に  
 時には寄道をしながら  
 時には道に迷いながら  
 ゴールの  
 袖ヶ浦市民会館  
 を目指す



## 【全行程徒歩移動】

見知らぬ土地の洗礼



時に日陰で休憩しながら  
目的地を目指す

地図や標識を頼りに…



## 【全行程徒歩移動】

スタート地点は君津市・富津市



君津市清和県民の森付近



富津市天神山小学校付近



君津市高宕山付近



富津市高宕山自然動物園付近

## 【全行程徒歩移動】

清流 相川



素潜りで…



天然の遊具でも遊べる！



サワガニGET！



## 【全行程徒歩移動】

豊英大滝を目指すが…



↑ ヒルに出会う前



ヒルによって心が折れ…



↑ ヒルに出会った後

## 【全行程徒歩移動】

総移動距離40～60km

雨の日も…  
猛暑日も…

袖ヶ浦市を  
目指して  
ひたすら  
歩く



## 【野外泊】

民家 or 公共施設

その日に  
泊まる場所は  
その日に  
決める

〔努力目標〕  
民泊3回



## 【野外泊】

### 農機具



農機具があったスペースに



ウレタンマットを敷いて  
野外泊



## 【野外泊】

9回連続交渉失敗…



10回目ようやく成功！



## 【野外泊】

寒さ・暑さ・虫との戦い



- ①地面にウレタンマットを敷く
  - ②スリーピングシートに包まる
- 以上

- ・人通りが多いところ
- ・野生動物が出現するところ

↓  
本部からスタッフを増員



## 【野外泊】

民泊先の家族との交流

すぐに仲良くなって…



みんなで花火！

## 【野外泊】

学校で寝泊まり

鉄棒は物干し場として活用



水道使い放題



遊具で遊び放題

## 【自力生活】

買い物（1日400円）

炊事・洗濯

1日1回は  
ご飯を炊く

洗濯は手洗い



【自力生活】 軒下を借りたり、歩きながら乾かしたり…  
洗濯は手洗い



【自力生活】  
地域の方からの差し入れ

あのスイカの味は忘れない…



山越えに備えて  
食料を買い込んだが…



【各種体験活動】  
飼育・野菜&果物収穫等

体験のお礼に  
恩返し

掃除  
草取り  
喜んで



【各種体験活動】 ブルーベリー摘み取り体験

野村さん



バケツいっぱい収穫



手作りのブルーベリー  
ジュースが完成！

【各種体験活動】 ブルーベリー摘み取り体験

鶴岡さん



貸し切りで体験活動



体験のお礼に  
ブルーベリー園の掃除

【各種体験活動】  
久留里城の見学

天守閣からの景色



長い階段は遊びながら楽しく帰る♪

【各種体験活動】  
パン作り体験

まずは生地を伸ばすところから



クリームパン完成！

【各種体験活動】

全て自分たちで交渉

- ・交渉
- ・体験
- ・お礼



感謝の気持ちを言葉と行動で表現します

【自然とのふれあい】  
川遊び・山登り・虫とり

滝つぼダイブ  
高宕山登山  
サワガニとり  
ザリガニ釣り  
昆虫採集

自然を満喫



## 【自然とのふれあい】

人気No.1 豊英大滝



## 【自然とのふれあい】



小櫃川で念願の川遊び

ひざ丈を超える水深の川では  
ライフジャケットを着用



## 【各種体験活動】

高岩山登山

山道を上ったり下ったり…



野生の猿にも出会いながら  
班員全員で登頂成功！

※わんぱくクエスト中に撮影した猿です。  
※インターネットの引用ではありません。



## 【自然とのふれあい】

生きる力が高まっていくと…



- ①ザリガニを釣る
- ②ザリガニに名前を付ける
- ③ザリガニを飼う
- ④ザリガニを食べる



野生動植物の捕食については必ず本部の指示を仰ぎます

## 【カウンセラー】

つかず、離れず、いつも参加者を見守る



カウンセラー≠学校の先生

安全面・道徳面に関しては、即指導します

## 【カウンセラー】

疲れがいつの間にか参加者の笑顔を奪う…



- ・疲れた
- ・暑い
- ・かゆい
- ・足が痛い
- ・荷物が重い

人間関係に変化が…

## 【カウンセラー】 トラブル発生



ケンカが起きても

道に迷っても



自分たちで解決策を見つけられるよう仕組み、見守ります  
(自主性を尊重するため、基本的には口出ししません)

## 【カウンセラー】 カウンセラーの導きによって



困難を乗り越えるために  
自分たちで考え  
力を合わせるようになっていきます

## 【カウンセラー】 参加者にとって唯一無二の特別な仲間



同じ釜の飯を食べ、隣で眠り、一緒にゴールを目指します

## 【ゴール】

6日目 15:00～15:50 袖ヶ浦市民会館



かつてない達成感と感動がそこに…

## 【ゴール】

全員ツインテール



カウンセラーへ  
サプライズ



ボランティアから  
手紙のプレゼント

## 【成果】

### ◎人材育成



将来、わんぱくクエストに  
関わってみたいですか？



◇数年後、一部の参加者はボランティアとして  
わんぱくクエストに帰ってきます。

平成28年度	26名
平成29年度	23名
平成30年度	25名

◇袖ヶ浦市役所に就職した参加者もいます。

## 【事業支援ボランティア】

高校生以上のわんぱくクエスト経験者



班随行

本部補助



夏の大冒険を裏側から支えます

## 【～大切なものに気づくかもしれない6日間～】

大切なものに  
気づくことはできましたか？



### 【ベスト3】

1位：仲間との絆 [26]

2位：地域の人々の温かさ [22]

3位：日常のありがたさ [13]

◇極限状態（不便・不快・疲労・暑い）の中で、  
多くの人とふれあい、参加者たちはそれぞれの  
大切なものに気づいていきます。

## 【大切なもの】

仲間との絆

喜びも…  
苦しみも…  
みんなで  
分かち合い  
固く結ばれた  
仲間との絆



## 【大切なもの】 地域の人の温かさ

見ず知らずの  
自分たちを  
快く  
迎えてくれた  
地域の人の  
温かさ



## 【大切なもの】 家族・日常のありがたさ

離れてみて  
初めてわかる  
かけがえのない  
家族と日常



## 【満足度】

参加者 98% 保護者 100%

全班  
笑顔で  
ゴール

参加者も  
保護者も  
高い満足度



## 【課題】

- 安全面の向上を追求すればするほど「非日常」が希薄化してしまう。

例) ・LINEによる一斉連絡や位置情報の把握  
・荒天時における緊急車両の追従  
・山や川へのスタッフ増員

- どんなに手厚く安全に配慮しても「傷病者なし」を完全に保証することが難しい。

### 〔懸念材料〕

・雷雨 ・台風 ・猛暑 ・毒虫 ・火傷  
・不審者 ・水難事故 ・滑落事故 ・交通事故

## 【安全な事業運営をするために】

◇袖ヶ浦市教育委員会の総力を挙げての事業運営

◎生涯学習課を中心に

・教育総務課 ・学校教育課 ・体育振興課  
・市民会館 ・長浦公民館 ・根形公民館  
・平川公民館 ・平岡公民館 ・郷土博物館  
・中央図書館 ・おかのうえ図書館  
・給食センター ・総合教育センター

◇近隣市の行政機関等に協力依頼

◎富津市、君津市、木更津市の行政機関等に  
わんぱくクエスト中の支援を依頼

〔行政機関・事業所〕

・教育委員会→小中学校、公民館 ・消防署  
・警察署→交番、駐在所 ・清和県民の森  
・少年自然の家（君津亀山、鹿野山）

## 【今後】

子どもたちを取り巻く自然環境や社会情勢は

本事業が始まった23年前と大きく変わってきました。

特に近年の異常ともいえる「ゲリラ雷雨」「猛暑」など

命を脅かすレベルにまで気象が変化してきたため、

安全な事業の運営が難しくなってきました。

「子どもたちの安全」を最優先に考え、

本事業はどうあるべきか、今後、検討していきます。



# 各市事例紹介（パネル展示）

二セコ町・安平町・木更津市・  
四街道市・八王子市・川崎市



2019年2月末人口  
5,285人 うち外国人504人  
2019年19歳未満の人口  
887人 うち外国人40人  
ニセコ町全人口の16.78%  
基幹産業(2017年度)  
農業:馬鈴薯、米、野菜など  
観光業:観光客数167万人

#### アクセス

新千歳空港 ⇄ ニセコ  
車で約2時間 約100km  
JRで平常時約3時間30分  
札幌市 ⇄ ニセコ  
車で約2時間15分 約105km  
JRで平常時2時間30分(直通)



## まちづくり基本条例

この条例は、ニセコのまちづくりを進める上での町民共通ルールです。このルールは、日本国憲法や地方自治法などの法の精神に基づき、わたしたち町民がまちづくりの主体(主体)として行動するためのものです。

条例の名前にある「まちづくり」とは、道路や上下水道の整備、市街景観形成などの目に見える「ハード」の側面だけではなく、情報共有や住民参加などの仕組みづくりといった目に見えない「ソフト」の側面も含んでいます。そこから、町民が住むことそのものが誇りに思える「暮らしづくり」を発展させること、それが「まちづくり」に込められた思いです。



2001年4月1日条例施行 (抜粋)

(目的)

第1条 この条例は、ニセコ町のまちづくりに関する基本的な事項を定めるとともに、まちづくりに関するわたしたち町民の権利と責任を明らかにし、自治の実現を図ることを目的とする。

(まちづくりに参加する権利)

第10条 わたしたち町民は、まちづくりの主体であり、まちづくりに参加する権利を有する。

2 わたしたち町民は、それぞれの町民が、国籍、民族、年齢、性別、心身の状況、社会的又は経済的環境等の違いによりまちづくりに関する関心、期待等を有していることに留意し、まちづくりに参加についてお互いが平等であることを認識しなければならない。

(満20歳未満の町民のまちづくりに参加する権利)

第11条 満20歳未満の青少年及び子どもは、それぞれの年齢に応じたまちづくりに参加する権利を有する。

## 小中学生まちづくり委員会

町民がまちづくりの主体となり積極的に自治に関わっていくことを目的に「小・中学生まちづくり委員会」を設置しています。



「観光モデルコース提案」  
ニセコで見る、食べる・飲む、体験する、泊まるのモデルコースを作成。



「ニセコってどんなまち?ニセコ町のラジオCMを作ろう!」  
子ども達がニセコの良いところを再認識し、CMを作成、ラジオ局で商業放送を体験しました。



ニセコ町長へプレゼンテーションを行い、委員と町長の懇談が行われ、

将来の自分の夢など意見交換が行われました。



## 子ども議会

町内の小中学生が議員となり、議会と同様にまちづくりに関する一般質問を行います。回答は、各課管理職が答弁にあたり、意見は今後のまちづくりに生かされます。



### 2018年主な一般質問

- ①町の木、花、鳥のPRについて
- ②高齢者のための施設建設
- ③部活動内容の充実
- ④ちびっこ広場の遊具について
- ⑤乗り合いバス「にこっとバス」の台数増について  
など全9問の質問。



## ニセコこども館

1998年公共施設で学童保育を開始、2000年ニセコ小学校の余裕教室1つを学童保育所に改築し運営を行っていました。

子どもの数が増え、2016年4月より、ニセコ小学校の隣地に学童保育と放課後子ども教室の一体型施設「ニセコこども館」を開設。（学童保育定員60名、主任支援員4名補助支援員4名）



利用料は、第2子半額、第3子以降免除、就学援助世帯は、第1子半額、第2子以降免除にするなど子育て支援を行っています。

施設の特徴は、木造建物で、ニセコ町内産材・道産材をふんだんに使用し、地中熱の利用により暖房・涼房を行うなど、子どもの安全と省エネに配慮した建物となっています。

まちづくり = **こどもの遊び** 中心

ぼくらの  
「園庭プロジェクト」  
早来小学校Xはるかに子ども園

【早来小学校6年生の園庭での活動】  
はやきた子ども園の園庭をフィールドとして、小学生が園児たちの意見を取り入れながら、遊具を製作しました。総合的な学習の時間を活用し、児童自らが考え、行動してきました。まさにアクティブラーニングの実践です。更にこの年の6年生がこの取組みを5年生へプレゼン（引継ぎ）し、新6年生は新たな取組みを展開しました。

あそびのひろは

心休まる空間

**安平町スタイル！！**

震災を乗り越えて・・・

楽しいひととき

【平成30年9月6日 北海道胆振東部地震】  
午前3時7分 震度6強。子ども達の心の安定は、一瞬にして揺れ動きました。少しでも安定を取り戻してもらうため、『あそびのひろば』を中心に子ども達の心のケアに取り組みました。道内外から、多くの方のご協力をいただきました。

心と心のふれあい

多くの感謝の声



# みなこ

らい：未来のために社会に出る前の登竜門として活動しています



がよく：地域の方々と交流を深め安心できる環境づくりを目指しています



み出す：初めてのこと、やってみてのことに勇気を出して一歩を踏み出します



クリエーション：子どもたちの遊びや学びを通じてこれからの地域を創ります



みなとまちなか  
Friendship  
@きさらづ





川に親しみ、川に学ぶ 川遊び

# 四街道川遊びいきものの図鑑

川には楽しいこと、  
不思議なことがたくさんあります。  
この本が川に遊びに行く  
きっかけになったら嬉しいです。

●保護者の皆様へ●

この図鑑には、川での遊びの中で子どもたちが見つけた「え？ほんと？！」というような情報も載せています。

そのため、ときに間違った情報も載っているかもしれません。

「あれ、違うんじゃない？」「ほんとかな？」と思ったときにはぜひ改めて調べてみてください。

そして、調べたことをぜひ私たちにも教えてください。

疑問をもったり、不思議だなと思うきっかけになったら、とてもうれしいです。



NPO法人四街道プレーパークどんぐりの森

# 四街道 川遊び いきものの図鑑



子どもたちと一緒に作った図鑑です。

## ポイント①

わかりやすく  
わくわくする  
川の生き物情報  
実際に見つけて子どもたちが  
探していたイラスト入り。  
自分でも見つけられるかも！  
見つけてみよう！  
観察してみよう！と思える工夫が  
いっぱいです。



## ポイント②

川にでかけるとき、  
生き物探しをするときの  
準備情報  
何を持っていくといい？  
何に注意したらいい？  
どこに生き物はいるの？  
川遊びのルール  
安全に川を楽しむためのグッズ情報。



## ポイント③

触ってみよう。  
餌ってみよう。  
遊んでみよう！  
川に決まった遊び方はありません。  
実際に川に行ったら、  
実際に得たからのお楽しみや  
子どもたちの感想もたっぷり。  
子どもの目線を持って、  
もっと川を楽しむためのきっかけに。



さあ、川へでかけよう。  
川には冒険が待っています。

## 四街道 川遊び いきものの図鑑

### 目次

- はじめに
- 四街道と川
- 川遊びに出かけよう（持ち物・服装）
- 川を観察してみよう
- いきものを探してみよう
- いきものを観察してみよう
- みんなで見つけたいきものの図鑑
- 活動の記録
- おわりに



・講師 中島 良介（なかじ）

父の影響で4才から釣りを始める。  
当時のホームグラウンドはハイパー池。  
学校帰りにコイ、フナ、ザリガニを釣りまくる。  
16才で二級船舶免許を取得。  
現在も年に1000日は釣りに。  
四街道プレーパークどんぐりの森は、  
県内各地のプレーパークで活動するプレーワーカー。

## ポイント④

川ってなんだろう？  
川はどこからきて、どこに行くの？  
水が流れているだけが川ではありません。  
川のまわには生き物がいて、植物がいて、土があります。  
自分たちが住むまちの一部としての川を感じるきっかけの場。  
子どもたちが感じたこと、みつけたことはなんだろう？  
四季を通じて川で遊んだからこそ感じたこともあります。

2月10日 並木川源流探し散歩（晴れ）



# 東京都八王子市

みんなで育てる みんなが育つ はちおうじ

## 意見

子どもの意見表明機会の経過  
～子どもが主体的にまちづくりに意見～

平成 13 年 9 月に『八王子市子どもすこやか宣言』の普及啓発事業として『子ども会議』を開催しました。「子どもの意見表明権」を具体化するために、子どもが「主体的に活動に参加できる機会を確保」することを目的としました。その後、八王子市の様々な所管と子どもの意見を尊重した居場所である児童館とが常に関わりながら、開催してきました。

『子ども会議』は、地域住民と団体、学生の協力を得て、「私たちぼくたちの考えるまちづくり」として、地域こども新聞作りや地域マップ作り、遊び場と遊び体験の取り組みを行いました。

『子ども議会』は、子ども議員が、学生サポーターの支えで、テーマ別に取材を行い、市長と議場で質疑応答を展開しました。

以後、『子どもミーティング』『子ども意見発表会』『子ども☆ミライ会議』と形式を変えて実施し、子どもたちは、子ども施策の学習会や農業体験、浅川探検、遊び場視察、防災体験など、体験形式のワークショップやミーティングを行い、まちづくりについて考え、提案をしてきました。



【子ども議会で提案する子ども議員】



【子どもによるアンケート調査活動】

平成 13～19 年度

子ども会議

平成 20 年度

子ども議会

平成 21～24 年度

子どもミーティング

平成 25～28 年度

子ども意見発表会

平成 29 年度～

子ども☆ミライ会議

児童館職員と学生がファシリテート

子どもにやさしいまちづくりをめざして！

## 宣言

子どもすこやか宣言(平成 12 年度)  
～子どもの権利条約の精神を尊重～

○わたしたちは 人にはみんな違いがあり みんなよいところをもっていることを認め お互いに相手を尊重します

○わたしたちは がまんすることの大切さを理解するとともに好きなことに夢をもち 元気にくらします

○わたしたちは しっかりと自分を表現し 自分の意見や行動に責任をもちます

○わたしたちは 子どもたち一人ひとりが大切にされ 安心して生活できる家庭を望みます

○わたしたちは 家庭や学校そして地域で学習する楽しさがわかり 自分の可能性を伸ばすことのできる環境を求めます

平成 13 年 2 月 4 日 八王子市



## 子どものまちづくりへの提言

ミライへの提言(平成 29 年度)  
「八王子は私たちがつくるまち」



八王子は  
わたしたちが  
つくるまち

- ① 子どもが大人と一緒に楽しく安心して遊べる場所があるまち
- ② 犯罪がなく、市民全員が安心してくらせるまち
- ③ 元気よくあいさつする世界一笑顔あふれるまち
- ④ 自然を活かした観光が盛んで楽しめるまち
- ⑤ 商工業によって栄え交通が便利なまち

平成 30 年 2 月 4 日 子ども☆ミライ会議 子ども大使一同



# 東京都八王子市

# 子どもはまちづくりのパートナー



## 計画

子どもの意見を大人が実現する  
～子どもとともにめざすまちづくり～

### ○子どもの意見を現実に！

- ①20年度に、子どもの意見を受け止めて、「こども政策課」の名称が「子どものしあわせ課」になりました。
- ②23年度に、子どもの提案により、安全のため浅川の看板や標識の一斉点検を行いました。
- ③27年度に、子どもが提案し、公園への遊具の設置や公園の防犯対策のため、立ち木の剪定を行いました。
- ④27年度に、甲州街道の地域活性化について提案した子どもと街道沿いの商店会会長との懇談会を実施しました。

### ○大人（子ども・子育て審議会）と意見交換会

26・27年度に、子どもの意見を計画に反映しようと、子どもと子育て審議会とが意見交換を行いました。その結果、子どもの意見が第3次子ども育成計画に反映されました。

#### 【反映された子どもの意見】

- ①子どもが気軽に相談できる場所がほしい。②子どもの遊び場所を増やしてほしい。③大人が、歩きタバコやポイ捨てをやめてほしい。④安心安全なまちにしたい。⑤きれいなまちにしたい。

### ○市長・教育長への意見発表とパネルディスカッション、市役所の各所管課長と意見交換

25～30年度に、子どもはまちづくりのパートナーとして、子どもにやさしいまちづくりをめざして、市長・教育長と意見交換を実施しました。

### ○平成29年度子どもが検討したミライ提言「八王子はわたしたちがつくるまち」を市長と市民に発表

## 参画

子ども☆ミライ会議（30年度）  
～ミライへの提言の具現化～

### ○第1回ワークショップ



「ミライへの提言」の5つの条文について、大人とともに子どもが責任をもち、実現していく具体案を検討しました。

### ○第2回ワークショップ

どの提言を担当するかについて決定し、自分の意見をまとめました。学生リーダーや職員のアドバイスも参考にしながら、資料を集め、原稿を作成とをしました。発表で強調するワードなどのピックアップや、自分の意見の裏付けとなる資料をインターネットで探しました。



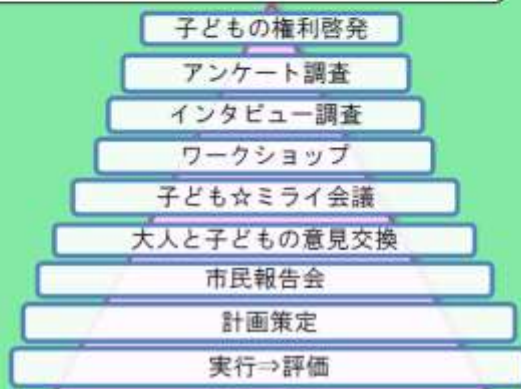
写真をプリントし、見える化にも挑戦しました。「八王子はわたしたちがつくるまち」の提言どおり、計画的に実施できるように、他自治体の実践事例も調べました。

### ○「子ども☆ミライ会議～市長・教育長と子どもが八王子の未来を語る～」を開催

小学6年生から高校2年生までの子どもが、「ミライへの提言」を実現する具体的な案について、事前のワークショップでまとめた意見を市長と教育長に発表しました。



## 子どもにやさしいまちづくりの推進プロセス



## 子どもにやさしいまちづくりのイメージ図



子どもにやさしいまちづくりをめざして！



## 第24回 川崎市青少年フェスティバル実行委員募集 ー若者がつくるこどもの栄典ー

“青少年フェスティバル”は若者が企画して、こどもが遊ぶイベント、  
どっちが主役？ぞう、どちらも、  
1年間かけて、1からつくる。その経緯は、特別なものだ。

当日、アリーナに笑顔がはれる。

Make smileのしかけにんになるう。



アリーナにブースが広がる。この景色は私たちがつくるもの。  
【たくさん観せストラックアウト！】【手をつなごう人間バスル】【ならしてみよう自分だけの音】など。

## 実行委員をやろう。



8,000人規模のイベントを企画できるボランティアはめずらしい。  
異なる委員を持つ仲間と話し合い、一つの目標に向かうこと。  
社会において、これ以上ない大切なスキルだ。

私に経験を。こどもたちに笑顔を。

対象：市内在住の中学生の1人暮らしの学生  
活動：全10回開催。主に平日の夜、フェスティバルの前日及び当日など  
場所：川崎市内の施設、商業施設、とどろきアリーナなど  
申込：川崎市内の各実行委員会（各のホームページから）  
※メールでも可  
2017年6月22日（土）までに申し込みをください。  
川崎市内でも応募は可能です。お気軽にご連絡を。



NEXT

平成29年3月17日(日)  
川崎南とどろきアリーナ

かた

春だフエスだ青フエスだ～思い出たんけんたい出動!!～



30 (雨天決行)

如何はらく c. 2. 60)

「待てます」

---

☎044-200-2669

# こども・若者サミット参加自治体 問合せ先

自治体名	連 絡 先
二セコ町	保健福祉課 地域包括支援センター 電話:0136-44-2121
安平町	教育委員会事務局 子育て支援グループ 電話:0145-29-7036
松戸市	子ども部 子どもわかもの課 電話:047-366-7464
木更津市	福祉部 自立支援課 電話:0438-23-6716
四街道市	経営企画部 シティセールス推進課 電話:043-421-6162
袖ヶ浦市	企画財政部 秘書広報課 電話:0438-62-2435
八王子市	八王子市立中野児童館 電話:042-624-9559
川崎市	こども未来局 青少年支援室 電話:044-200-2668

**千葉市 こども企画課**

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号  
電話 043 (245) 5673 FAX 043 (245) 5547  
E-mail : [kikaku.CFC@city.chiba.lg.jp](mailto:kikaku.CFC@city.chiba.lg.jp)